

平成29年2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H29年2月 数量 (トン)	H29年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県(三浦)産・千葉県(銚子)産中心の入荷でした。天候によって入荷は増減しましたが、ほぼ順調な入荷となりました。	771	91	101%	113%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。天候不順及び冷え込みの影響により入荷は減少しました。需要は硬調に推移したため、前年と比べ単価が高騰しました。	463	117	95%	160%
3		きゅうり	宮崎県産・茨城県産・千葉県産中心の販売でした。春系(埼玉県産・群馬県産)も始まり、少なかった前年を上回る入荷となりました。	287	323	102%	70%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産中心の入荷でした。茨城県産を主力に販売しました。年末からの安値から抜け出せず、低調な販売となりました。	113	399	119%	77%
5		馬鈴薯	鹿児島県内曇天・降雨の影響により入荷量も小玉のため減少しました。産地高により単価高のまま推移しました。	277	240	88%	128%
6	果 実	伊予柑	愛媛県産中心の販売でした。不作だった前年に比べて、数量は増の販売となりました。	186	210	122%	92%
7		ふ じ	青森県産中心の販売でした。産地在庫が少ない状況と、中・小玉が多かったため、数量減の販売となりました。	244	291	51%	96%
8		いちご	福岡県のあまおうなど九州全般で2番果の生育が良く入荷数量増となりました。前年度との出荷規格変更大粒比率が上がりパック数も増となりました。	210	1,359	184%	90%